

ゲンボイヤ配合錠

【この薬は？】

販売名	ゲンボイヤ配合錠 Genvoya Combination Tablets
一般名	エルビテグラビル／コビススタット／エムトリシタビン／ テノホビル アラフェナミドフマル酸塩 Elvitegravir / Cobicistat / Emtricitabine / Tenofovir Alafenamide Fumarate
含有量 (1錠中)	エルビテグラビル 150 mg／コビススタット 150 mg／ エムトリシタビン 200 mg／テノホビル アラフェナミドフマル酸塩 11.2 mg (テノホビル アラフェナミドとして 10 mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに、特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、抗ウイルス剤（インテグラーゼ阻害剤、ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・ この薬は、H I V（ヒト免疫不全ウイルス）のインテグラーゼと逆転写酵素を阻害して、

ウイルスの増殖をおさえます。

- ・ 次の病気の人に処方されます。

H I V - 1 感染症

- ・ この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化したり、効きにくくなるおそれがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- B型慢性肝炎にかかっている人では、この薬の使用を中止すると、B型慢性肝炎が再燃することがあります。特に非代償性の場合は、症状が重くなることがあります。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・ 過去にゲンボイヤ配合錠に含まれる成分で過敏症のあった人
 - ・ 次の薬または食品を使用している人
カルバマゼピン（テグレトール）、フェノバルビタール（フェノバル）、フェニトイン（アレビアチン）、ホスフェニトイン（ホストイン）、リファンピシン（リファジン）、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort：セント・ジョーンズ・ワート）含有食品、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン（クリアミン）、エルゴメトリンマレイン酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（メテルギン）、アスナプレビル（スンベプラ）、シンバスタチン（リポバス）、ピモジド（オーラップ）、シルデナフィルクエン酸塩（レバチオ）、バルデナフィル塩酸塩水和物（レビトラ）、タダラフィル（アドシルカ）、ブロナンセリン（ロナセン）、アゼルニジピン（カルブロック）、リバーロキサバン（イグザレルト）、トリアゾラム（ハルシオン）、ミダゾラム（ドルミカム）、ロミタピドメシル酸塩（ジャクスタピッド）、テラプレビル（テラビック）
 - ・ 腎臓または肝臓に障害があり、コルヒチンを使用している人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に、医師または薬剤師に教えてください。
 - ・ B型肝炎ウイルス感染のある人
 - ・ 腎機能障害の危険性のある人
 - ・ 過去に病的骨折（些細な原因によって起きた骨折）があった人またはその他の慢性骨疾患のある人

- ・ 腎臓に重度の障害のある人（コルヒチンを使用している人を除く）
 - ・ 肝臓に重度の障害のある人（コルヒチンを使用している人を除く）
 - ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・ 授乳中の人
- この薬には、併用してはいけない薬や食品（○次の人は、この薬を使用することはできません。を参照）、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬を使用する前に、腎機能検査（クレアチニンクリアランス、尿糖、尿蛋白）が行われます。腎機能障害の危険性のある人では、血液中のリン濃度の測定も行われることがあります。
- この薬を使用する前に薬剤耐性検査（薬が効くかどうかの検査）を行うことがあります。

【この薬の使い方は？】

○ 使用量および回数

- ・ 飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
- ・ 通常、成人または体重25kg以上の小児の飲む量および飲む回数は、次のとおりです。

1回量	1錠
飲む回数	1日1回 食後

- ・ この薬はHIV-1感染症に対して1剤で治療を行うものであるため、他の抗HIV薬と併用されません。
- ・ この薬はエルビテグラビル、コビシスタット、エムトリシタビンおよびテノホビル アラフェナミドフマル酸塩の配合剤のため、この薬と同じ成分を含む製剤、ラミブジン含有製剤（エムトリシタビン含有製剤に類似）およびテノホビル ジソプロキシシルフマル酸塩含有製剤と併用されません。
- ・ 腎機能検査の結果によって、この薬の使用が中止されることがあります。

○ どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

○ 飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

○ **多く使用した時（過量使用時）の対応**

異常を感じたら、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- この薬は、患者さんやそれに代わる適切な人が、次の点について十分に理解できるまで説明を受け、同意してから使用が開始されます。
 - ・ この薬は、H I V感染症を根本的に治すものではありません。この薬を飲んでいても、病気が進行する可能性があります。身体状況の変化は全て医師に報告してください。
 - ・ この薬を長く飲んだ場合の影響については、わかっていません。
 - ・ H I V感染症の治療薬による効果的なウイルス抑制は、性的接触による他者へのH I V感染の危険性を低下させることが示されていますが、その危険性を完全に排除することはできません。
 - ・ H I V感染症の治療薬が、血液などによる他者へのH I V感染の危険性を低下させるかどうかについては証明されていません。
 - ・ 担当医師の指示がないのにこの薬の飲む量を変えたり、飲むことをやめたりしないでください。
 - ・ この薬には、併用してはいけない薬や併用を注意すべき薬があるため、使用しているすべての薬を担当医師または薬剤師に報告してください。また、この薬の治療中に新たに他の薬を使用する場合には、事前に担当医師または薬剤師に相談してください。
- この薬を含めて、複数のH I V感染症の薬を飲み始めた後、免疫力が回復し、日和見感染などに対する炎症反応（発熱、下痢など）があらわれたり悪化したりすることがあります。また、自己免疫疾患（甲状腺機能亢進症、多発性筋炎、ギラン・バレー症候群、ブドウ膜炎など）があらわれることがあります。
- この薬の使用後は、定期的な腎機能検査（クレアチニンクリアランス、尿糖および尿蛋白）が行われることがあります。腎機能障害の危険性がある人では、血液中のリン濃度の測定も行われることがあります。
- この薬の成分の一つであるエムトリシタピンを飲んだ後で、皮膚が変色（主に手のひらに発現し、小さなしみやほくろのような変色）したとの報告があります。その発現頻度は有色人種で高いとされています。
- 妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。

○授乳を避けてください。

○他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを、医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
腎不全 じんふぜん	尿量が減る、むくみ、体がだるい
重度の腎機能障害（腎機能不全、腎不全、急性腎障害、近位腎尿細管機能障害、ファンコニー症候群、急性腎尿細管壊死、腎性尿崩症又は腎炎） じゅうどのじんきのうしょうがい（じんきのうふぜん、じんふぜん、きゅうせいじんしょうがい、きんいじんにようさいかんきのうしょうがい、ファンコニーしょうこうぐん、きゅうせいじんにようさいかんえし、じんせいにようほうしょうまたはじんえん）	尿量が減る、むくみ、体がだるい、筋力の低下、骨痛、尿量が増える、喉が渇く、多飲
乳酸アシドーシス にゅうさんアシドーシス	頭痛、眠くなる、意識の低下
脂肪沈着による重度の肝腫大（脂肪肝） しぼうちんちやくによるじゅうどのかんしゅだい（しぼうかん）	体がだるい、吐き気、食欲不振、発熱、腹痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると、次のとおりです。

これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	むくみ、体がかゆくなる、体がだるい、骨痛、発熱

部位	自覚症状
頭部	頭痛、眠くなる、意識の低下
眼	白目が黄色くなる
口や喉	喉が渇く、多飲、吐き気
腹部	食欲不振、腹痛
皮膚	皮膚が黄色くなる
筋肉	筋力の低下
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る、尿量が増える

【この薬の形は？】

形状		長い楕円形の錠剤		
		 上面	 下面	 側面
ボトル				
直径	長径	19.2 mm		
	短径	8.7 mm		
厚さ		7.5 mm		

重さ	1080 mg
色	緑色（フィルムコート）
識別コード	GSI-510

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	エルビテグラビル／コビシスタット／エムトリシタビン／テノホビルアラフェナミドフマル酸塩
添加剤	二酸化ケイ素、クロスカルメロース Na、ヒドロキシプロピルセルロース、乳糖、セルロース、ラウリル硫酸 Na、ステアリン酸 Mg、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、青色 2 号、マクロゴール、三二酸化鉄、酸化チタン、タルク

【その他】

○ この薬の保管方法は？

- ・ 直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・ 子供の手の届かないところに保管してください。

○ 薬が残ってしまったら？

- ・ 絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・ 余った場合は、処分の方法について、薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は、下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ギリアド・サイエンシズ株式会社 (<https://www.gilead.co.jp/>)

メディカルサポートセンター

電話：0120-506-295

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日および会社休日を除く）